

一般社団法人日本人間工学会第58回理事会 議事録

1.開催日:2021年9月15日(水) 15:00~17:20

2.開催場所:Zoomによる遠隔会議

3.出席理事:<敬称略>

・理事会構成員(27名・定足数14名以上)

(理事):吉武良治(理事長),下村義弘(副理事長、国際誌),石橋基範(総務),榎原毅(編集、国際誌),
笠松慶子(財務),辛島光彦(財務),鴻巣努(表彰),小谷賢太郎(国際協力),境薫(若手支援),
三林洋介(戦略ロードマップ),佃五月(企業活動),中川千鶴(総務),中本和宏(戦略ロードマップ),
松岡敏生(広報),山田クリス孝介(広報、選管) [15名]

(理事兼支部長):久保博子(関西),斎藤真(東海) [2名]

[計:17名]

(欠席者):青木洋貴(学術),易強(企業活動),内野英治(中国・四国),加藤麻樹(若手支援),狩川大輔
(安全),平沢尚毅(北海道),本多薫(東北),村木里志(九州・沖縄、編集、国際誌),矢口博之
(関東),横山清子(学術)

・オブザーバー:佐藤洋(JENC),鳥居塚崇(国際),堀江良典(表彰),村田厚生(第63回大会長),八木
佳子(認定機構)

・監事:青木和夫,大須賀美恵子

・事務局:西原彩,米倉裕美

※全員ネット会議出席者

4.議事概要

定足数14名を超える17名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後、定款に従い理事長を議長として議事を進行した。

【審議事項】

(1) 第1号議案 第63回大会の日程変更について(村田第63回大会長)

村田大会長より、開催予定地である尾道市の諸般の事情により5~6月に開催することが困難になったため、開催日を2022年7月30日(土)~31日(日)に変更したい旨説明があり、承認された。吉武理事長より、例年同時開催している定時社員総会については別途5~6月に開催する旨説明があった。大会開催時期は原則、事業年度終了後3か月以内と規程されているが、今回は特別に承認した。

(2) 第2号議案 投稿規程の改定について(編集委員会)

榎原編集委員長より、投稿規程の改訂箇所について資料を基に説明があり、承認された。実態に合わせた修正と「著者貢献の開示」の追加。「著者貢献の開示」を追加する背景について詳細説明があった。

(3) 第3号議案 査読委員会の創設について(編集委員会)

榎原編集委員長より、査読委員会創設の提案について資料を基に説明があった。リサーチ・イシュー、短報、実践報告等の現場の報告がより学会誌に載りやすくなるために、査読委員会制度を新しく立ち上げたい。査読委員は学会員より広く募集し、査読を担当する前にオンライン講習を実施する。任期は1期2年。人数や選

考方法についてコメントがあり、審議の上承認された。

(4) 2023 年第 64 回大会について(理事長)

吉武理事長より、2023 年の第 64 回大会を大会長 下村義弘先生(千葉大学)で開催したい旨説明があり、承認された。下村先生より挨拶があった。

(5) 2021 年日韓シンポジウムの J-STAGE 掲載について(国際協力委員長)

小谷国際協力委員長より、2021 年日韓シンポジウムの論文を J-STAGE に掲載したい旨、経緯等の説明があった。これまで日韓シンポジウムは JES 全国大会時に併催していたため、大会講演集と合わせて J-STAGE に掲載していたが、今回は関東支部大会と併催するため、これまでと同様に J-STAGE に掲載できなくなってしまうので、全国大会と併催ではないが J-STAGE に掲載したいとお願いがあった。石橋総務理事より、日韓シンポジウム論文の掲載場所の一貫性を確保したい旨補足があった。以上説明後、承認された。

J-STAGE 掲載の場所については、編集委員会、総務、国際協力委員会が検討の上決定することを確認した。

(6) 「研究倫理運用推進委員会」(仮称)の設置について(総務)

石橋総務理事より、臨時委員会の設置について資料を基に説明があった。「人間工学研究のための倫理指針検討委員会」は任期満了となり、その後は総務理事が倫理指針を担当することとしたが、省庁が主導する生命科学・医学系研究の指針と齟齬が生じないように、改訂内容を本学会の指針に随時反映・調整するために、専門の委員会を臨時的に設置したい。活動期間は 2022 年の 3 月末としているが、必要があれば延長する。以上説明後、承認された。委員会名称は「研究倫理運用推進委員会」とする。

(7) 「人間工学」の定義について(国際協力委員会)

小谷国際協力委員長より、IEA による「人間工学」の定義について JES サイトに掲載している和訳に適切ではない箇所があるので修正したい旨提案があり、審議の上、一旦 HP 上の和訳を「国際協力委員会試訳 2021.9.15」として修正し、その後再度広く意見募集等をした後、次回理事会にて再度合意を取り、最終更新をすることを確認した。

(8) 標準化貢献賞設置について(ISO/TC159 国内対策委員会)

佐藤 ISO/TC159 国内対策委員長より、委員会内で人間工学関連の標準化に貢献した方に授与する賞を新設したい旨、資料を基に提案があった。学会正会員へ授与する。他の規程と体裁を整える必要がある箇所が複数あるため、表彰委員会と確認の上、次回理事会にて最終版の規程を決定する旨確認した。賞の設置については承認された。

【報告事項】

(1) 総務報告

(1-1) 石橋総務理事が、一般社団法人日本人間工学会第 57 回理事会議事録について報告した。

(1-2) 会勢報告

2021 年 8 月末現在、会員数 1,336 名(+7 名)、賛助会員 23 社 24 口(-2 口)。

会費未納者について、ご存知の方がいれば声を掛けてほしい旨お願いがあった。

(1-3) メールによる審議および報告事項等の結果について(2 件)

2 件のメール審議の結果、承認されたとの報告があった。

(2) 財務報告 (8 月末)

2021 年8月度収支計算書(案)が提示され、会費納入状況等の報告があった。第 62 回大会からの寄付金について、大須賀大会長へのお礼が述べられた。

(3) 第 62 回大会 (2021 年) 開催報告

大須賀第 62 回大会長より大会参加者、収支、参加者アンケート等の報告があった。個々の論文は J-STAGE へ掲載済みだが、表紙等を付けた大会講演集 PDF を HP 上に残したい旨説明があった。同様に協賛企業のリンク付きロゴも大会 HP 上に残したい。また、57 巻 4 号に掲載した報告内容の一部に修正があった。

(4) 第 63 回大会 (2022 年) 準備状況報告

村田第 63 回大会長より、大会準備を進めている旨報告があった。

(5) 担当・委員会報告

(5-1) 広報委員会

山田委員長より、GPDB に 3 件新規登録があった旨報告があった。ERGO Directory の項目追加は準備中。

(5-2) 編集委員会

榎原委員長より、学会誌の発行状況について報告があった。投稿件数、掲載論文が増えている。

(5-3) 国際協力委員会

小谷委員長より、6 月 12 日に IEA 評議会がオンライン開催された旨報告があった。57 巻 4 号に報告記事を掲載済み。IEA 新会長は Jose Orlando Gomes (ブラジル)。榎原委員が Professional Standards and Education (PSE) 委員会のエグゼクティブメンバーに選ばれた。河合委員は IEA の Web サイトを担当する。

(5-4) ISO/TC159 国内対策委員会

佐藤委員長より各 SC の活動や予算状況等の報告があった。

(5-5) 表彰委員会

堀江委員長より、第 62 回大会時の優秀研究発表奨励賞の受賞者について報告があった。最優秀賞 1 名、優秀賞 3 名。表彰式は各支部大会で実施予定。また、新しい賞の設置を提案する際は、事前に表彰委員会へ相談して欲しい旨お願いがあった。

(5-6) 安全人間工学委員会

議長より代理で活動報告があった。6 月 30 日に実施された共催イベントの安全工学シンポジウム 2021 で佐相委員が実行委員を担当、芳賀委員長を座長としてオーガナイズドセッション『レジリエンス・エンジニアリングと安全諸理論』を実施。今後も適宜、研究会の主催・共催や、安全に関する情報発信を行う予定。

(5-7) 学術担当

今回は報告事項なし。

(5-8) 人間工学専門家認定機構

八木機構長より 9 月 11 日 (土) に認定試験を実施した旨報告があった。

(5-9) 若手支援委員会

今回は報告事項なし。

(5-10) 企業活動推進委員会

今回は報告事項なし。

(5-11) 人間工学戦略ロードマップ委員会

三林委員長より、委員を増やした旨報告があった。SDGs 検討委員会とも連携していく。

(5-12) 国際誌検討委員会

榎原委員長より、第 2 回委員会を 8 月 31 日オンラインで開催した旨報告があった。次回理事会でジャー

ナルのビジョンを具体的に示す予定。現在の和文誌をハイブリッド化する構想について、ぜひ意見を寄せてほしい旨依頼があった。

(5-13) 子どもの ICT 活用委員会

今回は報告事項なし。

(5-14) SDGs検討委員会

榎原担当理事より、委員が決定し、活動をスタートした旨報告があった。常見麻芙委員長(山下病院)、庄司直人副委員長(朝日大学)の紹介があった。

(5-15) 第 8 期選挙管理委員会

山田委員長より、第 8 期選挙を実施するための準備をスタートした旨報告があった。

(6) 支部報告

(6-1) 北海道支部

今回は報告事項なし。

(6-2) 東北支部

議長より代理で、東北支部研究会を第 1 回:12 月 19 日(日)、第 2 回:3 月 5 日(土)に開催予定の旨報告があった。

(6-3) 関東支部

今回は報告事項なし。

(6-4) 東海支部

斎藤支部長より、10 月 30 日に支部研究大会をオンライン開催する旨報告があった。産業保健人間工学会と同時開催。

(6-5) 関西支部

久保支部長より、12 月 11 日に支部大会をオンライン開催する旨報告があった。

(6-6) 中国・四国支部

今回は報告事項なし。

(6-7) 九州・沖縄支部

12 月 17~18 日に支部大会を沖縄で開催する準備を進めている。オンライン開催や日程短縮の可能性もあり。

(7) 協賛等の依頼

石橋総務理事より、合計 31 件の協賛等依頼について報告された。

(8) その他

(8-1) 今後の理事会日程について

次回第 59 回理事会を 2022 年 2 月から 3 月に開催予定で、日程については後日アンケートを実施する旨連絡があった。

(9) 閉会

以上の議事を終え、17 時 20 分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、代表理事、監事がこれに記名押印する。

2021 年 9 月 15 日

代表理事

吉武良治^印

監事

青木和夫^印

監事

大須賀美恵子^印